

# 松江市議会 松政クラブだより

発行日/平成19年3月1日  
発行所/〒690-8540  
松江市末次町86  
松江市役所内  
編集者/安部吉輝

## 愛する郷土「松江」のために



松江市議会 松政クラブ  
会長 比良幸男

早春の候、市民の皆様には、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から、松政クラブの活動に對しましてご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

松政クラブは、新松江市の発足にあわせ、平成十七年五月、愛する郷土「松江」の発展のため志を同じくする議員三十名を会員として誕生いたしました。我が松政クラブは、ほぼ全市に地域代表議員を擁する市議会最大党派であり、同時に市民の皆様に対する責任会派であります。

今後とも松政クラブ二丸となつて、市民の皆様への負託にこたえていきたいと考えておりますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

昨年、五年半にわたる小泉政権の後を受け「美しい国づくり」をキャッチフレーズに安倍政権が誕生いたしました。そして、島根県においても五期二十年続い

た澄田県政、その澄田知事も今期限りで引退と報じられております。

世のうつろいのなかに節目を感じております。

松江市でも、本年は松江開府四百年祭のスタートをきる大きな節目の年であります。国際文化観光都市「松江」をPRする絶好のチャンスであり、観光事業にも拍車がかかる年になるものと考えております。さらには様々な業種に経済波及効果があるものと大いに期待をいたしております。

また同時に、我が愛する郷土「松江」、そのすばらしい歴史・文化・伝統を再確認し、守り、子孫代々にまで伝え、引き継いでいくまたとない機会になるものと思ひます。

さて、全国的に平成の市町村合併が一段落いたしました。全国の自治体数は、三千二百三十二団体(平成十一年三月三十一日現在)から、千八百十六団体

(平成十九年一月一日現在)と約半数になっております。

この平成の大合併は、自治体の逼迫した財政問題への対応も目的の一つでありました。

合併後、二年近くになりますが、新松江市の財政状況は、引き続き厳しい状況下にあります。また、この松江市では企業においても家計においても、都会のような好景気の恩恵は全く感じられない昨今であります。

依然厳しい状況ではありますが、地方分権の流れを取り込み、行財政改革を強力に推し進める一方、産業振興や定住施策を積極的に推進して行かねばなりません。そのことは、住むことに誇りや愛着の持てる活力に満ちたまちづくりつながり、同時に、「合併してよかった」との評価にもつながるものと信じております。

合併までには多くの困難がありました。この産みの苦しみの後には育ての苦しみも待つております。しかし、同時に成長の喜びもあると確信いたしております。

ところで、自治体の厳しい財政状況は全国的な傾向であります。昨年、借金返済にあえぎ財政破綻した北海道の夕張市の例がありました。この事例は議会の監視機能にも問題を投げかけております。我々は、議会の果たす役割の重要性を再認識し、市民の代表として是非々の立場で議員活動・会派活動を行つていかねばと、改めて身を引き締めております。

今後とも我々の活動につきまして、市民の皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 平成十九年度 部会別視察

総務・経済部会は平成十八年十月二十四日(二十六日)に栃木市で「蔵のまちルネサンス・中心市街地活性化」、日光市で「世界遺産を生かした街づくりと観光振興」、草加市で「草加宿実行委員会」について、教育民生・建設環境部会は、同二十三日(二十五日)に足利市で「緑を活かしたまちづくり」、国立市で「市民企画提案型事業」について視察研修を行いました。

栃木市では一九八八年に県より「誇れるまちづくり事業」の指定を受け、全国に先駆けて「巴波川・蔵の街ルネサンス」を主題に、商業・観光・居住・交流・文化のストックの五つの視点で、中心市街地に残る歴史的資源や自然環境を利用し誇りをもち快適に生活できるまちづくりを展開されていきました。



巴波川を生かしたまちづくりが行われている栃木市

日光市は、世界遺産に登録された日光の社寺を核として文化財・歴史的町並みを生かし観光施策が練り広げられていきました。草加市の実行委員会は各界より委員を募り、市街地西側を南北に位置する旧日光街道に草加宿の再生を目指し、街づくり企画をしておられました。三市とも人口の多い関東地区にあり、やりようで好結果を出せることに羨ましさを感じませんでした。

足利市は、松江市のように渡良瀬川が中心市街地をほぼ東西に横断しており、その河川敷をグリーンプラザとして有効に利用されていきました。様々な施設行事に緑とかがりをつけて、市民へ花木の配布などが行われていました。松江市でも考慮されたいと個人的には思いました。国立市では二〇〇三年より市民参加条例を準備し、その企画に対して

補助金を交付し、行政と市民の協働を推進されていきました。

そして、二十四日には四部会合同で、総務省・文部科学省よりそれぞれ「地方財政」「放課後子ども教室創設推進事業」について説明をうけました。地方財政については、三十六頁に及ぶ資料を基に講話を受けましたが三割自治と称される我々に於いては国に負うところが大きいので新年度に向けた方策から目が離せないところでありました。

①地方歳出の抑制と一般財源総額の安定的確保 ②国と地方の基礎的財政収支 ③新しい地方分権改革 ④新型交付税 ⑤頑張る地方応援プログラム等七項目に分けて話されたわけですが、①については、地方歳出人員費・地方単独事業の全てにおいて国と歩調を合わせ削減に努めるとあり、②においては地方が改善されており国とのアンバランスが生じていると論じ、③は分権の名の下、税源移譲などで二十万人以上の都市の半分が不交付団体になるよう見直しを図る。④では、交付税の配分方法を簡素化させるとして、⑤は、「地方の活力なくして国の活力なし」の観点から、地方への分権に合わせその知恵と工夫を求めています。全体に、地方への負担拡大とも思えるような部分も多く、「七月七日の閣議決定において交付税交付金の法定率は堅持する」とあるのに、均衡を取るために引き下げを行うべきとどうということなのか「プライマリーバランスの好結果が国による締め付けの効果であつて、豊かになつていくわけではまったく無い」「頑張る地方を応援とは、新たに地方間の競争を求め結果は自己責任ということなのか」等、仲間の議員から質問がありました。放課後子どもプランについては、学力の向上や少子化対策などを求め創設されるもので、従来より実施されている放課後児童クラブと連携して事業展開されたい旨説明がありました。これについても、昨年四月より、指定管理者制度にのっとり児童クラブの運営委員長をしている仲間も多く、「各地域の実態をどのように把握しているのか」「二万校で人材を確保し十九年度から出来るのか」等、鋭い質問がとびまわりました。

松政クラブの全議員が参加し、本省の講義を受けたり二班に分かれて視察研修を行いました。互いにそれぞれの研修内容の意見交換をし、何らかの形で市民の皆様への成果を提供したく思っております。全国での新たな動き・気になる事業などございましたら、松政クラブまでお知らせ下さい。速やかに研究しお応えしたいと思います。(文責・吉金)



# 松政クラブ 平成19年度予算編成に関する要望とその回答

平成19年度の予算編成にあたり、松政クラブでは、以下の事項に特に重点をおき、53項目にわたり要望いたしました。その一部をご紹介します。

## 〈重点要望事項〉

1. 市民の多様な行政ニーズの把握と支所機能の向上
2. 全市域での自治会組織の早期整備
3. 安心して出産・子育てができるよう、さらなる取組み
4. 児童生徒の基礎学力の向上と、学校での一人一人へのきめ細やかな対応
5. 開府400年祭の慎重・周到な事業計画の樹立と、計画的な取組み
6. 大橋川治水事業と中心市街地の排水対策事業の早期着手

## 〔総務・消防関係〕

〔1〕新市建設計画の具現化と行財政改革の実践推進により、財政の健全化と効率的市政運営の実現にさらに努力されたい。また、各支所に組織されている地域協議会との連携強化、教育委員会を含め支所機能の向上を図るために、組織・体制を検討し整備を図られたい。

## 〔回答〕

財政の健全化と効率的な市政運営に向けて、「行財政改革実施計画」の年次スケジュールに基づき、各実施項目に計画的に取組み併せて、「中期財政見通し」に沿った予算編成・予算執行に努め、より早い段階から自主的・計画的な改善努力を行い、持続可能な財政運営と将来の財政負担の軽減・抑制を図る。

その取組みの中で、本市の財政状況を中長期的視点で把握し、財政の健全化や安定化に努め、各種施策の具体的実施計画を策定のうえ、優先度・緊急度などを考慮しながら、新市建設計画の具現化に努める。

## 【財政部 財政課】

地域協議会は、地域のまちづくりにおいて重責を担っていただいている。今後も支所、市長部局、教育委員会の各担当課は、地域協議会と密接に連絡・調整を取りながら施策を進める。

また、支所の体制については、本庁・支所の連携もスムーズになってきており、今後は業務量に応じた体制にしたい。また、教育委員会分室についても、公民館の今後のありかたなど、支所と一体となった体制の見直しを図る。

一方、支所の機能については、市民の要望に迅速に対応できるように、これまでの道路、学

現在、市内の公共交通機関各々の運行路線の駅・バス停から概ね500メートルの範囲内に市民の約96%が居住されている。コミュニティバスは、市民の移動手段として重要な役割を果たしていると認識しているが、福祉バスの意味合いが大きく、多額の税金が投入されていることから、効果については詳細に検証し、利用が伸びない場合は廃止し、代替手段を検討することも含めて、さらに工夫をしていく必要がある。

今後も、地域の大切な公共交通機関であるコミュニティバスを、住民自らが守つていかなければならないという強い思いで、その積極的な利用に取組んでいただきたい。市としても、そうした地域の自主的な取組みに対して、積極的に協力・支援したい。

〔市長室 政策企画課〕

## 〔市民生活・福祉関係〕

1、高齢者対策

〔1〕高齢者の介護予防施策が重視されるなか、地区福祉団体とも連携を強め、高齢者の地域活動と健康づくりのための諸施策を一層推進されたい。

## 〔回答〕

地区社会福祉協議会、老人クラブ、ヘルスポランティア団体(キッチン倶楽部・サンクラブなど)等と連携し、趣味活動、身体機能の低下を防ぐための運動、食生活改善のため活動等を中心に健康づくりを進める。

現在策定中の「健康まつえ21基本計画」に基づき、地区毎の計画を作成し、活動を展開することで、生涯現役をめざす。

## 【健康福祉部 健康推進課】

〔2〕24時間体制を採り入れた在宅介護の充実を図ると共に、住み慣れた地域での介護の拡充に努力されたい。

## 〔回答〕

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、平成18年度から地域包括ケア体制の確立に向け、地域密着型サービスを整備する。今年度は、小規模多機能型居宅介護事業所を5ヶ所、認知症対応型通所介護事業所を2ヶ所、夜間対応型訪問介護事業所1ヶ所を指定する予定。

平成20年度までに、さらに小規模多機能型居宅介護事業所5ヶ所、29床以下の小規模特別養護老人ホーム2ヶ所、認知症対応

型通所介護事業所3ヶ所整備する。これらの地域密着型サービスを有効に機能させ、在宅介護がより充実するよう努める。

## 【健康福祉部 介護保険課】

## 2、幼児、児童対策

〔1〕新松江市次世代育成支援行動計画を、着実に実践されたい。

## 〔回答〕

待機児童解消のための認可保育所整備や児童クラブの増設など、新松江市次世代育成支援行動計画に沿って着実に実施し、子育て環境の整備に努める。

## 【健康福祉部 保健福祉課】

〔2〕少子化が進む中で、安心して出産や育児ができるよう、地域での子育て家庭を支える取組みを一層推進されたい。

## 〔回答〕

子どもとその家族が交流し、子育て家庭が孤立しないように子育て支援センター事業、乳幼児教室、出前保育、訪問型子育てサポート、乳幼児家庭訪問、保育所や幼稚園の開放などを充実する。

## 【健康福祉部 保健福祉課】

## 3、障害者対策

自立支援法の趣旨にそって施策を進めると共に、自立が困難な障害者の方にも支援の充実を図られたい。

## 4、病院関係

旧病院跡地の処理等を含め、経営が早期に健全化するよう一層努力されたい。

## 5、教育関係

〔1〕小中学生の学力低下が問題視されているが、基礎学力向上のため必要な施策を確実に講じられたい。また、学校現場での児童生徒一人一人に対して、きめ細やかな対応がされるよう措置されたい。

## 〔回答〕

教育委員会では、平成16年度より学力向

上事業として、学力調査の実施を始めとして、指導力向上や学ぶ意欲の向上をめざした各種の事業を総合的に展開してきている。平成19年度以降も、これまでの事業の成果や課題を踏まえて事業を推進する。

## 【教育委員会 指導課】

〔2〕地域毎に特色ある教育は維持しつつも、新松江市として統一した方向性を持った教育を推進されたい。

## 〔回答〕

今年度中に策定予定の、「新松江市学校教育プラン」によって統一した方向性と各地域の特色ある教育を推進する。

特に、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の向上については各学校が共通して取り組むための施策を講じる。

さらに、今後は、中学校区を単位として、その地域の特色を活かしながら、小学校・中学校の連携、及び一貫した教育を計画的に推進する。

## 【教育委員会 指導課】

## 〔経済関係〕

## 1、観光事業

〔1〕建設中の「夕日スポット」を含めた宍道湖の景観を日本一としてPRすることを含め、ITを活用する等「国際文化観光都市・松江」の情報を積極的に発信されたい。

## 〔回答〕

「夕日スポット」が整備を契機に、宍道湖の魅力在全国に発信していく。具体的には、夕日予報と宍道湖のライブ中継をホームページ上で提供したり、夕日を活用している自治体との交流・連携、夕日サミットの開催、宍道湖をテーマとしたフォトコンテストの実施等を通して、全国に宍道湖の夕日をPRしていきたい。

## 【観光振興部 観光企画課】

これらの夕日情報を含めた「国際文化観光都市・松江」の魅力は、来年からスタートする松江開府400年祭事業などを通じ、松江ゆかりのプログラミンソフト「Ruby」を活用した形で全国に発信し、入込客1,000万人構想の実現を図る。

## 【観光振興部 観光企画課】

〔2〕松江開府400年祭を慎重かつ計



画的・集中的に検討され、費用対効果を重視しつつ、メリハリを持った事業として実施されたい。

〔回答〕

松江開府400年祭事業は、観光振興のみならず、市民が郷土の自然や歴史・文化などを検証・再認識し、後世に確実に継承していくことも大きな目的の一つ。将来の「オンライン」のまちづくりに向けて大きく貢献するものと考えている。

開府400年のこの節目に生き、存在していることの尊さと重みを市民一人ひとりが意識し、将来の松江に何を伝え、何を残せるのかを問い掛け、行動を起こす契機とした。したがって、市民総参加を促し、その実施過程における多様な効果をも期待する。

この5年間に事業の構成としては、  
①「郷土の歴史資料の収集・保存・展示」や「市誌の編纂」など、400年祭を新たなスタートとして取組んでいく息の長い事業  
②「市民ホスピタリティの醸成」など、5年の間に創り上げたい事業、あるいは期間限定で集中的に行う「新小泉八雲賞」事業など

③ 全国に情報発信・誘客を図れる「ホームページ」など郷土行事  
そして、これらと連動・補完するよう、  
④ 各種の記念行事との連携や既存イベントの拡大

また、これら事業のテーマは、松江が国際文化観光都市として欠くことのできないもの、松江の魅力として伸ばしていく必要があるものを基本に据える。

そのテーマとしては、「風光明媚な自然」や「日本を代表できる歴史遺産と文化」、「小泉八雲」などに代表されるが、産業振興に結びつくような要素を盛り込むよう工夫を凝らした。

事業の趣旨に鑑み、官民一体となって推進したいので、議会としても積極的な参画をお願いしたい。【観光振興部 観光企画課】

〔3〕特色と魅力ある温泉街の基盤整備を進め、源泉の有効利用にも努められたい。

〔回答〕

玉造温泉については、市道湯町玉造線の道路整備、案内板などの情報板やポケットパー

クの整備、玉湯川筋線の路面の美化や照明の整備、モノメント整備などの基盤整備を、来年度からまちづくり交付金事業で年次の実施予定。地元協力の推進体制も整っている。

松江しんじ湖温泉については、日帰り温泉施設整備を中心とする活性化を、地元温泉振興協議会で検討されている。この振興協議会の動向を見ながら進めていく。

〔都市計画部 市街地整備課〕

2、中心市街地活性化事業

北殿町地区は歴史的な街並みを生かし、地元住民との連携で商店街の活性化を図り、併せて南殿町再開発事業も積極的に推進されたい。

〔回答〕

平成21年度オープン予定の歴史資料館は、北殿町地区の商店街活性化にとって、絶好のチャンスと考える。今後地元住民や商店会による具体的な取組みが計画・事業実施されれば、積極的に支援したい。

南殿町地区第二種市街地再開発事業は、昨年9月に5階建ての東棟が完成し、現在、商業床・駐車場・住宅からなる西棟の建設工事が発注されました。平成20年6月に完成予定で、本市としてもこの事業を推進するため、総事業費約29億7千5百万円のうち国と市で約9億6千9百万円の補助をする予定。【産業経済部 商工課】

〔都市計画部 市街地整備課〕

3、商工業

伝統工芸品製造業の支援策と職人の育成にも配慮されたい。

4、農林水産業

〔1〕水田協議会・担い手協議会等関係機関の合意形成と連携強化によってフロンティア化の実現を図られたい。

〔回答〕

平成19年産米から、農業者・農業団体に移行することが決定されている米の生産調整は、JAKにびきが中心となり、松江八束地域水田農業推進協議会を通じて取組む。しかし、JAKにびきには生産調整事務のノウハウの蓄積が無いため、市に対して支援を

求めている。

また、担い手の育成支援については現在、松江八束地域担い手育成総合支援協議会（まつえ生き活き農業センター）として11月に1回、JAKにびきを含めた関係機関が集まり担当者会議を開催し、情報交換等を行いながら連携して取組んでいる。

こうした状況の中、生産調整事務の円滑な移行と担い手の育成・支援のさらなる推進を図るため、平成19年1月からは、松江市とJAKにびきで協定書を結び、農林課にJAK職員を受け入れて、業務を遂行したい。

【産業経済部 農業企画課 農林課】

〔2〕玄丹ソバ、黒田セリ、津田かぶ、秋鹿こぼろ、薬用雲州人参や牡丹等の特産品として一層の定着を図ると共に、新商品の開発と販売の拡充強化にも努力されたい。

〔3〕水産業振興のための諸施策を進める中で、稚魚・貝の放流事業等沿岸漁業資源の確保と「つくり育てる漁業」を一層推進されたい。

5、ガス事業

経営環境が厳しくなっている現在、将来の民営化に向かって、一層の経営改善に努力されたい。

6、交通事業

バス路線については「公共交通体系整備計画」に基づいた運行がされることになるが、貸切を含め全体の経営改善に一層努力されたい。

〔回答〕

経営改善を図っていくため、公営・民間両バス事業者が、役割分担を行うことにより無駄な競争を止め、重複路線を解消し、収益性を高め、いくととも、夜間便の創設などによるバス利用者の拡大に努める。

貸切部門については、本来の目的である「収益を路線バス部門に補てんすること」を基本とし、収益性の高い事業を確実に捕捉していきたい。

一方、歳出面については、管理部門を中心とした事務部門の合理化を進め、経営の健全化に努める。【交通局 総務課】

〔建設・環境関係〕

1、都市基盤整備の充実と強化

〔1〕新市の「まちづくり基本計画」に盛り込まれた放射道路・環状道路・内外循環線や国道431号及び432号の改良整備について、関係機関に強く働きかける等、引き続き積極的に取り組まされたい。

〔2〕快適で「安心・安全」な街づくりを実現するために、大橋川改修事業は必要不可欠である。なかでも、中心市街地における治水（内排水）対策は喫緊の重要課題であり、関係機関・自治会等に積極的に働きかけ、早期に事業着手ができるよう努力されたい。

〔回答〕

《大橋川改修事業について》  
松江市の抜本的な洪水対策としては、大橋川改修が必要であり、早期着手に向け精力的に取り組んでいる。

昨年11月21日には、「大橋川周辺まちづくり検討委員会」から「大橋川周辺まちづくり基本方針（委員会案）」の提案を受けた。この基本方針は、大橋川の河川改修と背後地整備を行う上での「理念」「方向性」を示したもので、これを受けて行政・河川管理者は基本方針を決定し、今後、この方針に沿って具体的に図面化した基本計画を検討予定。【市長室 大橋川治水事業推進課】

《中心市街地における治水（内排水）対策について》  
大橋川改修までの当面の対策として、昨年同様洪水が発生した場合でも、床上浸水や幹線道路の通行止め防止を目的に「松江市街地浸水にかかる当面の対応策」を国・県・市、で協議を重ねてきた。

主な対応策としては、「朝酌川からの逆流防止を図るため、京橋川に水門の設置」「大橋川・天神川に流入する水路に逆流防止施設」「洪水が大橋川・天神川を越える箇所に越流防止対策」等、また、出水時対応として「宍道湖や大橋川の洪水が市街地へ侵入を防ぐため、天神川河口部や権太夫川河口部を応急的に仮締め切りを行う」「内水排除のため小型ポンプを稼働する」等の対策を国・県・市、において連携して実施する。これらの施設整備は、今後2～3年間で整備する計画。【建設部 土木課】

2、建設産業対策・雇用対策

〔1〕公共工事の減少で受注競争が激化しているが、工事発注に当たっては地元建設産業の育成に最大限の配慮をする一方、適正・厳格に審査し旧町村間を含め、入札に不公平感が生じないよう配慮されたい。

〔2〕みどり豊かな街路樹の植栽と、県外や外国人観光客にも分かり易く和み易い絵やイラストを活用した案内標識を積極的に導入し、国際文化観光都市に相応しい優しい町並みのイメージアップを図られたい。

3、環境・衛生関係

一般廃棄物についてさらに市民のモラル向上に努め、今後も分別収集・減量化促進とリサイクルの拡充を図る一方、不法投棄ゼロの実現に向けて一層努力されたい。

〔回答〕

一般廃棄物の適正処理については、引き続き、市民、事業所に対し、ごみの分別・減量、リサイクルの推進に向けた啓発に努める。

本年度から実施（向こう4年間）の可燃ごみの減量計画に基づき、きめ細かな分別指導を行っていくと共に、生ごみ処理機の補助金制度の普及などにより、ごみの問題や環境に対する意識が高まるよう、市報、ケーブルテレビなどの広報媒体を活用して啓発に努める。

また、不法投棄防止対策については、引き続き、松江警察署、島根県、島根県産業廃棄物協会、地元住民との連携を強化し、「定期的なパトロール」や「投棄物の撤去作業」「啓発看板の設置」を行うなど、不法投棄を「させない」環境づくりと「しない」人づくりに努める。【環境保全部 環境保全課、リサイクル都市推進課】

4、水道事業

柿原地の整備を早期に行い、上水道・簡易水道の給水コスト軽減を図り尾原受水を控え、職員給与の適正化を含めて一層経営合理化に取組まれた。又、全市の料金均一化の早期実現の方向でさらに努力しながら、産業の発展にも効果的で合理的な料金体系を早期に構築されたい。



[組織構成図]

# 平成17・18年度 松政クラブ役員名簿

<b>会長</b> 比良 幸男	<b>総務会</b> 加藤 滋夫 出川 修治 足立 利人
--------------------	---------------------------------------

<b>副会長</b> 三島 進 三島 良信
-----------------------------

<b>監事</b> 南波 巖 福間 俊夫	<b>幹事長</b> 後藤 院一
----------------------------	---------------------

<b>副幹事長 (会計担当)</b> 山本 勝太郎	<b>副幹事長 (政策担当)</b> 田中 弘光	<b>副幹事長 (広報担当)</b> 安部 吉輝
------------------------------	-----------------------------	-----------------------------

<b>政策委員会</b> 委員長 田中 弘光 参与 松政クラブ七役 委員 田村 昌平 委員 足立 利人 委員 福間 俊夫 委員 加藤 富章	<b>広報委員会</b> 顧問 中村 晴洋 委員長 安部 吉輝 委員 板垣 亨 委員 森脇 賢夫 委員 松蔭 嘉夫 委員 吉金 隆
---	---

<b>総務部会</b> 部会長 田村 昌平 部員 [総務委員]
---------------------------------------

<b>教育厚生部会</b> 部会長 足立 利人 部員 [教育民生委員]
---

<b>経済部会</b> 部会長 福間 俊夫 部員 [経済委員]
---------------------------------------

<b>建設部会</b> 部会長 加藤 富章 部員 [建設環境委員]
---

# 松政クラブ議員 MAP

**朝倉 弘太郎** (島根町野波) 経済委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**森脇 敏信** (美保関町七瀬) 市議会副議長 総務委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**森脇 勇人** (美保関町七瀬) 経済委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**加賀の瀬戸** 加賀の瀬戸

**松蔭 嘉夫** (島根町大戸) 松政クラブ広報委員会委員 建設環境委員会委員 総務委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**林 干城** (手角町) 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員 教育民生委員会委員

**山本 勝太郎** (鹿島町恵藤) 松政クラブ副幹事長 松政クラブ会計 建設環境委員会委員 議会運営委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**田中 豊昭** (鹿島町御津) 建設環境委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**枕木山** 枕木山

**加藤 滋夫** (七犬野町) 松政クラブ総務会 建設環境委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

**田中 弘光** (秋鹿町) 松政クラブ副幹事長 松政クラブ政策委員会委員長 総務委員会委員 議会運営委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**福田 安信** (下佐陀町) 島根原子力発電対策特別委員会副委員長 総務委員会委員

**立脇 通也** (外中原町) 市議会議長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**南波 巖** (上東川津町) 松政クラブ監事 総務クラブ総務長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**田村 昌平** (西尾町) 松政クラブ政策委員会委員 総務部会長 総務委員会委員長 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**中村 晴洋** (灘町) 松政クラブ広報委員会顧問 教育民生委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**比良 幸男** (幸町) 松政クラブ会長 議会運営委員会委員長 建設環境委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**出川 修治** (新維新町) 松政クラブ総務会 経済委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**後藤 院一** (八幡町) 松政クラブ幹事長 総務委員会委員 議会運営委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**加藤 富章** (古志原) 松政クラブ政策委員会委員 建設環境部会長 建設環境委員会委員長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**森脇 賢** (古志原) 松政クラブ広報委員会委員 教育民生委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**三島 進** (大庭町) 松政クラブ副会長 議会運営委員会委員 経済委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**石倉 茂美** (佐田町) 建設環境委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

**藤田 彰裕** (八雲町熊野) 監査委員 教育民生委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

**山陰道** 山陰道

**玉造温泉** 玉造温泉

**三島 良信** (穴道町佐々布) 松政クラブ副会長 議会運営委員会副委員長 総務委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**葉山 泰子** (穴道町穴道) 教育民生委員会副委員長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**福間 俊夫** (玉湯町玉湯) 松政クラブ監事 松政クラブ政策委員会委員 建設環境委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**森脇 幸好** (玉湯町湯町) 建設環境委員会副委員長 松政クラブ政策委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**板垣 亨** (西忌部町) 松政クラブ広報委員会委員 経済委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**吉金 隆** (上乃木) 松政クラブ広報委員会委員 教育民生委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**加藤 富章** (古志原) 松政クラブ政策委員会委員 建設環境部会長 建設環境委員会委員長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**森脇 賢** (古志原) 松政クラブ広報委員会委員 教育民生委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**三島 進** (大庭町) 松政クラブ副会長 議会運営委員会委員 経済委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**石倉 茂美** (佐田町) 建設環境委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

**藤田 彰裕** (八雲町熊野) 監査委員 教育民生委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

**山陰道** 山陰道

**玉造温泉** 玉造温泉

**三島 良信** (穴道町佐々布) 松政クラブ副会長 議会運営委員会副委員長 総務委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**葉山 泰子** (穴道町穴道) 教育民生委員会副委員長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**福間 俊夫** (玉湯町玉湯) 松政クラブ監事 松政クラブ政策委員会委員 建設環境委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**森脇 幸好** (玉湯町湯町) 建設環境委員会副委員長 松政クラブ政策委員会委員 宍道湖・中海問題等対策特別委員会委員

**板垣 亨** (西忌部町) 松政クラブ広報委員会委員 経済委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**吉金 隆** (上乃木) 松政クラブ広報委員会委員 教育民生委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**加藤 富章** (古志原) 松政クラブ政策委員会委員 建設環境部会長 建設環境委員会委員長 一般電線問題等対策特別委員会委員

**森脇 賢** (古志原) 松政クラブ広報委員会委員 教育民生委員会委員 基地等対策特別委員会委員

**三島 進** (大庭町) 松政クラブ副会長 議会運営委員会委員 経済委員会委員 島根原子力発電対策特別委員会委員

**石倉 茂美** (佐田町) 建設環境委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

**藤田 彰裕** (八雲町熊野) 監査委員 教育民生委員会委員 一般電線問題等対策特別委員会委員

山陰をリードする  
中核都市として  
風格を持った  
住みやすい松江を  
つくります

皆様のご意見・ご要望を  
私たちにお聞かせ下さい。